

環境委員会

委員一覧（20名）

委員長	長浜	博行（立憲）	尾辻	秀久（自民）	竹谷	とし子（公明）
理事	滝沢	求（自民）	関口	昌一（自民）	宮崎	勝（公明）
理事	三木	亨（自民）	橋本	聖子（自民）	柳田	稔（民主）
理事	徳永	エリ（立憲）	松山	政司（自民）	市田	忠義（共産）
理事	片山	大介（維新）	丸川	珠代（自民）	寺田	静（無）
	石井	準一（自民）	芝	博一（立憲）	平山	佐知子（無）
	猪口	邦子（自民）	鉢呂	吉雄（立憲）		（会期終了日 現在）

（１）審議概観

第203回国会において、本委員会に付託された法律案はなかった。

また、本委員会付託の請願１種類１件は、保留とした。

〔国政調査〕

11月19日、環境問題に取り組む企業内科学者の評価の必要性、2050年カーボンニュートラルの法制化及び炭素税導入、

気候変動問題における食品ロス削減対策の意義及び取組、E S G情報の公開の在り方、2050年カーボンニュートラルに向けた原子力発電の在り方、2030年度温室効果ガス排出削減目標の見直し及び石炭火力発電の在り方、ライフスタイルの変革に向けた環境教育の重要性、気候変動の日本近海への影響とブルーカーボンの活用等について質疑を行った。

（２）委員会経過

○令和２年11月17日（火）（第１回）

- ・理事の辞任を許可し、補欠選任を行った。
- ・環境及び公害問題に関する調査を行うことを決定した。

○令和２年11月19日（木）（第２回）

- ・政府参考人の出席を求めることを決定した。
- ・環境問題に取り組む企業内科学者の評価の必要性に関する件、2050年カーボンニュートラルの法制化及び炭素税導入に関する件、気候変動問題における食品ロス削減対策の意義及び取組に関する件、E S G情報の公開の在り方に関する件、2050年カーボンニュートラルに向けた原子力発電の在り方に関する件、2030年度温室効果ガス排出削減目標の見直し及び石炭火力発電の在り方に関する件、ライ

フスタイルの変革に向けた環境教育の重要性に関する件、気候変動の日本近海への影響とブルーカーボンの活用に関する件等について小泉環境大臣、笹川環境副大臣、江島経済産業副大臣、宮崎環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

猪口邦子君（自民）、徳永エリ君（立憲）、竹谷とし子君（公明）、片山大介君（維新）、柳田稔君（民主）、市田忠義君（共産）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）

○令和２年12月４日（金）（第３回）

- ・理事の補欠選任を行った。
- ・請願第706号を審査した。
- ・環境及び公害問題に関する調査の継続調査要

求書を提出することを決定した。

- ・ 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。